

令和7年度 放課後等デイサービス Koko 事業所における自己評価結果(公表)

事業所名放課後等デイサービス Koko

公表日

令和 8年 4月 15日

No.	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		活動に必要なスペースを確保している。	継続して安全な環境を確保する。
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		基準に基づき必要な職員を配置している。	児童の状況に応じた配置に努める。
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じた環境上の配慮が	○		特性に応じて環境調整や構造化を行っている。	必要に応じて環境を見直す。
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		清潔で安全な環境の維持に努めている。	継続して環境整備を行う。
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		必要に応じて個別に過ごせる場所を確保している。	児童の状況に応じて活用する。
6	業務改善を進めるためのPDCAサイクルに、広く職員が参画しているか。	○		職員間で課題を共有し、業務改善を行っている。	PDCAを意識した改善を継続する。
7	保護者向け評価表により保護者等の意向等を把握し、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者評価を実施し、改善につなげている。	評価結果を業務改善に活かす。
8	職員の意見等を把握する機会を設け、その内容を業務改善につなげているか。	○		会議や従業者評価等で職員の意見を把握している。	職員間の共有を継続する。
9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	保護者評価・従業者評価を業務改善に活用している。	第三者評価は未実施。必要性や実施方法を検討する。
10	職員の資質向上のため、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		年間計画に基づき研修機会を確保している。	継続して職員の資質向上を図る。
11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムを作成・公表している。	必要に応じて内容を見直す。
12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、ニーズや課題を客観的に分析した上で放課後等デイサービス計画	○		事業所・保護者アセスメントを踏まえて計画を作成している。	適切なアセスメントを継続する。
13	放課後等デイサービス計画作成時に、児童発達支援管理責任者だけでなく支援職員が共通理解の下で検討してい	○		支援職員も参加して個別支援計画を検討している。	チームでの検討を継続する。
14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画を職員間で共有している。	計画に沿った支援を継続する。
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールや日々の行動観察等のアセスメントにより確認しているか。	○		行動観察、支援記録、支援会議等から継続的に状態を把握している。	必要に応じて標準化されたツールの活用も検討する。
16	放課後等デイサービス計画に、本人支援、家族支援、移行支援及び地域支援・地域連携を踏まえた支援内容が設定	○		本人・家族・移行・地域支援等を踏まえて計画を作成している。	計画内容の充実を図る。
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		職員間で相談しながら活動を立案している。	チームでの検討を継続する。

18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		季節や児童の状況に応じて活動を工夫している。	活動が固定化しないよう継続する。
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて支援しているか。	○		個別活動と集団活動を組み合わせて支援している。	児童の状況に応じて調整する。
20	支援開始前に職員間で打合せを行い、その日の支援内容や役割分担を確認しているか。	○		支援前に内容や役割分担を確認している。	確実な情報共有を継続する。
21	支援終了後に職員間で振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援・送迎終了後に常勤職員で振り返り、翌日の打合せ等で非常勤職員にも共有し	参加できない職員への申し送りを徹底する。
22	日々の支援に関して記録をとり、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の支援内容を記録し、支援の見直しに活用している。	記録を支援改善に活かす。
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画を適切に見直しているか。	○		定期的にモニタリングを行い、計画を見直している。	継続して適切に実施する。
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○		自立支援、多様な体験、自己選択等を組み合わせさせて支援している。	地域交流の機会をさらに充実させる。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫等、自己決定する力を育てる支援を行っているか。	○		活動等を自分で選択できる機会を設けている。	自己決定につながる支援を継続する。
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議等に、こどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童の状況を理解した職員が関係会議に参加している。	関係機関との連携を継続する。
27	地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		医療・福祉・教育等と必要に応じて連携している。	必要な連携を継続する。
28	学校との情報共有、連絡調整を適切に行っているか。	○		学校と下校時刻や児童の状況等を共有している。	学校との円滑な連携を継続する。
29	就学前に利用していた保育所、幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との情報共有と相互理解に努めているか。	○		利用開始時に就学前の関係機関へ連絡し、必要な情報提供を受けている。	必要な情報共有と支援の引継ぎを継続する。
30	学校卒業後に障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか。			現時点で卒業に伴う移行事例はない。	該当時は移行先と必要な支援情報を共有する。
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じて助言や研修を受ける機会を設けているか。		○	地域の関係機関等との連携に努めている。	近隣の児童発達支援センターや専門機関等との連携機会を検討する。
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	公園や公共施設等の地域資源を活用している。	地域のこどもと関わる機会について検討する。
33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	○		児発管兼管理者が清水町自立支援協議会・子育て部会に参加している。	得られた情報を事業所内で共有し、支援に活かす。
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		HUG、送迎時、面談等で保護者と情報共有している。	継続して共通理解を図る。
35	家族に対して家族支援プログラムや家族等が参加できる研修の機会、情報提供等を行っているか。	○		家庭での関わり方等への助言や、子育て・発達支援に関する情報提供を行っている。	情報提供の充実や実施可能な家族支援を検討する。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時等に運営規程、支援内容、利用者負担等を説明している。	丁寧な説明を継続する。
37	放課後等デイサービス計画作成時に、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		アセスメント等を通じて本人・家族の意向を確認している。	意向を踏まえた計画作成を継続する。

38	放課後等デイサービス計画を示しながら支援内容を説明し、保護者の同意を得ているか。	○		個別支援計画を説明し、保護者の同意を得ている。	継続して適切に実施する。
39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、面談や必要な助言・支援を行っているか。	○		面談や日常の相談に応じ、必要な助言・支援を行っている。	家族の状況に応じた支援を継続する。
40	保護者同士やきょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	個別面談や相談支援を通じて家族のニーズを把握している。	保護者・きょうだい同士の交流について、ニーズを踏まえて検討する。
41	こどもや保護者からの苦情について対応体制を整備・周知し、迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情受付・対応体制を整備している。	迅速・適切な対応を継続する。
42	通信、HP、SNS等を活用し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信しているか。	○		HUGやホームページ等で情報発信している。	分かりやすい情報発信を継続する。
43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報保護・情報セキュリティに配慮している。	適切な取扱いを継続する。
44	障害のあるこどもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		特性に応じて視覚支援等を活用している。	個々に応じた情報伝達を継続する。
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		ホームページ等で支援プログラムや事業所の取組を公表している。	地域との直接的な交流機会について検討する。
46	事故防止、緊急時、防犯、感染症等のマニュアルを策定・周知し、訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを整備し、研修・訓練を実施している。	周知・訓練・見直しを継続する。
47	業務継続計画(BCP)を策定し、非常災害に備えて定期的に必要な訓練を行っているか。	○		BCPを策定し、避難訓練等を実施している。	計画に基づく訓練を継続する。
48	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		アセスメント等で服薬・発作等の情報を事前に確認している。	状況の変化を継続して確認する。
49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	保護者に対応方法を確認し、対象食品を提供しない対応を行っている。	医師の指示書等により必要な対応を確認し、個別対応を明確にする。
50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練等を行っているか。	○		安全計画を作成し、安全点検・研修・訓練等を実施している。	計画に基づく安全管理を継続する。
51	安全計画に基づく取組内容について家族等へ周知しているか。	○		安全計画を事業所内に掲示し、安全に関する取組を周知している。	HUG等も活用し、保護者への周知を充実する。
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策を検討しているか。	○		ヒヤリハットを記録・共有し、安全管理委員会等で検討している。	分析結果を再発防止に活かす。
53	虐待防止のため、職員研修等の適切な対応をしているか。	○		虐待防止委員会・研修等を実施している。	継続して虐待防止に取り組む。
54	やむを得ず身体拘束を行う場合について組織的に決定し、説明・同意・計画への記載等を適切に行っているか。	○		身体拘束適正化の指針・委員会・研修・記録体制を整備している。	身体拘束によらない支援を継続する。

※ No.30は令和7年度中に該当事例がないため、「はい」「いいえ」のいずれにも○を付けず「該当事例なし」としています。